

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年7月31日（金）

2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第6～8棟

3 確認項目

固体廃棄物貯蔵庫第6～8棟における現況確認

4 確認結果の概要

東京電力では、廃炉作業等で発生した金属やコンクリートくずなどの瓦礫類のうち、表面線量率が一定レベルを超えるものについては、容器に収納し、全9棟からなる固体廃棄物貯蔵庫に貯蔵している。

今回は、このうち第6棟から第8棟*における廃棄物の貯蔵状況、容器の腐食の原因となる結露の発生状況について確認した。（図1、写真1）

- ・現場確認時、廃棄物の搬入は行われていなかった。
- ・廃棄物はドラム缶及びコンテナに収納された状態で、1段から3段積みで貯蔵されていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、廃棄物の飛散や漏れ及び保管容器の腐食は確認されなかった。（写真3）
- ・また、調査を行った地上1階から地下2階までの壁面、床面及び天井に結露は確認されなかった。なお、地下2階においてはエアコン6基を稼働させ結露対策がとられていた。（写真4～6）

※ 当該貯蔵庫は、地上1階、地下2階の構造となっており、棟ごとの同一階はそれぞれ連結しており、各階フロアが一体として機能している。

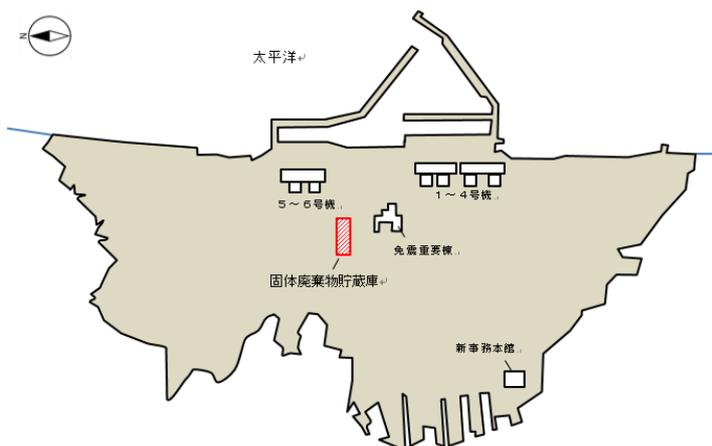


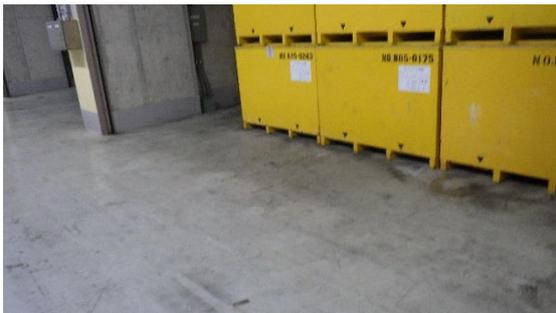
図1 固体廃棄物貯蔵庫概略図



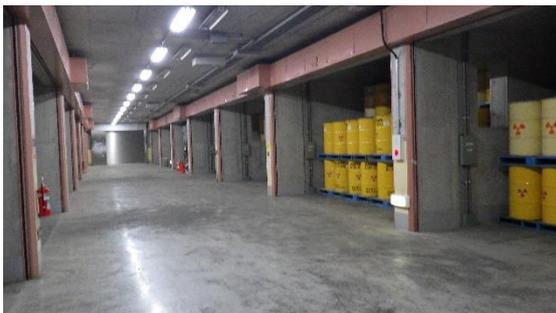
(写真1)
固体廃棄物貯蔵庫（東側から撮影）
正面に見えるのは第4棟。
第6棟～第8棟は、この裏側に位置する。



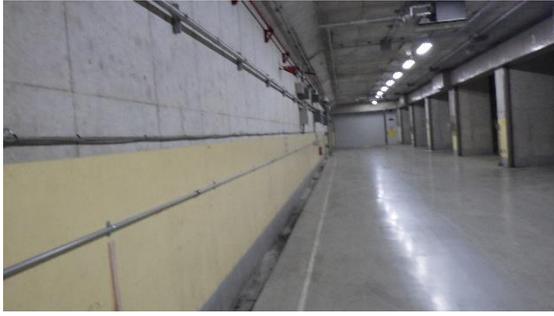
(写真2)
廃棄物貯蔵状況
廃棄物入りのドラム缶が最大3段で
保管（地下2階）



(写真3)
床面等には廃棄物の飛散や漏れ及び
その痕跡は確認されなかった。
（地下2階）



(写真4)
床面、壁面、天井に結露は確認され
なかった。（地上1階）



(写真5)
床面、壁面、天井に結露は確認されなかった。(地下1階)



(写真6)
地下2階にはエアコンが設置され、稼働していた。

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。